

冬の味覚・光のアート♪ おいでよ！冬の庄内へ

庄内の冬の観光を、食やプロジェクションマッピングで楽しみませんか



冬の庄内フェア・酒田舞娘の演舞

庄内の冬の観光PRを行う目的で、11月5日、6日に、山形駅西口のやまぎん県民ホールイベント広場において、「冬の庄内フェア」を実施し、2日間で約18,000人のお客様が来訪しました。フェアでは、酒田舞娘の艶やかな演舞、ANA SHONAI BLUE Ambassadorによる移住者視点のイチオシ観光情報紹介、山伏、菜の花むすめ等による観光PRを行いました。あわせて酒田のラーメン、庄内の農産物、地酒などの食でも庄内の魅力をPRしました。



冬の庄内フェア・物産販売

冬の新しい観光素材として磨き上げを図っている「雪と庭園の灯り～2022～」では、12月3日、4日に鶴岡市の玉川寺で実施し、2日間で約100名の参加がありました。12月17日、18日には、酒田市の総光寺で幻想的なプロジェクションマッピングを上映予定です。

また、1月7日、8日には、藤島イルミネーションの会場の隣で、「プロジェクションマッピングin東田川文化記念館」を開催予定です。酒田舞娘の演舞と幻想的な映像の協演による初めての企画です。お楽しみに！



プロジェクションマッピング 雪と庭園の灯り～2022～ 玉川寺



開催中(～1/9)の藤島イルミネーション

これからの主なイベント

かんだら

●酒田日本海寒鱈まつり
令和5年1月28日(土)・29日(日)
酒田市中町ほか

かんだら

●日本海寒鱈まつり
令和5年2月5日(日)
鶴岡銀座商店街特設会場

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止させていただく場合があります。

庄内の冬の味覚
寒鱈汁



観光振興室 ☎ 0235-66-5726



庄内の観光情報はこちら
[やまがた庄内観光サイト](#)





ワイン銘醸地を目指して

庄内産ワインの未来を考える

研修会を開催



12月2日、講師に一般社団法人OIV登録品種協議会の代表理事を務めている松尾英理子さんをお招きし、ワイン産地としての「庄内」の価値を知り、今後の事業に活かしていくための研修会をグランドエル・サンを会場に開催しました。

松尾氏からは、「現在の世界におけるワイン用ブドウの潮流として、世界中で栽培されている国際品種よりも、その土地に根付いて作られている品種への注目が集まっている。庄内では、江戸時代に伝えられた「甲州」がいまなお栽培されており、また、ヤマブドウ系の栽培に関しても歴史がある。欧州系ブドウ栽培の取組みは新しいが、固有品種において伝統産地であることは、全国各地で生まれているワイン用ブドウの産地と一線を画すはず。地元で愛されるワイン、国内外では希少性の高いワインを生み出すワインの銘醸地にしていこう。」というお話をいただきました。

庄内におけるブドウ栽培の歴史を知り、ワイン産地としてのポテンシャルの高さを再認識するセミナーとなりました。



一般社団法人OIV登録品種協議会

ブドウ・ワインの国際機関であるOIVに登録された日本固有品種について、研究者や地域の生産者など関係者が協働し、品質とブランド価値を高めていくこと等を活動目的としています。



研修会の様子

地域産業経済課 農産物利用拡大・調整担当

☎ 0235-66-5725

新規就農者の研修交流会を開催しました!



鶴岡田川地域の新規就農者等の仲間づくりを目的として、10月12日に新規就農者等研修交流会を開催し、当日は新規就農者、就農予定者及び鶴岡市立農業経営者育成学校研修生等約20人の参加がありました。

始めに先輩農業者のミニトマトハウスを視察し、次に県外から移住し農業法人へ雇用就農されている方の事例発表、最後にグループに分かれての意見交換を行いました。

現地視察では、経営者として裁量を持てることがやりがいであることや夏場のハウス内の農作業の厳しさ、就農前に農業研修を受ける大切さについてお話いただきました。事例発表では、県外から移住して農業法人へ就農した経緯、雇用就農のメリット・デメリット、そして農業以外に取り組んでいるラジオパーソナリティの活動についてお話いただきました。

意見交換では、参加者が就農に向けて不安な点や就農後の悩み等を話し、先輩農業者や関係機関がアドバイスしました。

今後も新規就農者等の仲間づくりを促す場を提供していきます。



現地視察 ミニトマトハウス



意見交換の様子

農業技術普及課 経営企画担当 ☎ 0235-64-2103

移住者の生の声！ オンライン移住ミーティング

～SHONAIライフスタイルミーティング開催～



11月23日に移住に関心を持つ方とのオンライン移住交流会を開催しました。庄内へ移住した3名の魅力的なゲストが、等身大の「庄内暮らし」を伝えてくれましたので、彼らのお話を紹介します！



●大阪府出身 遊佐町在住 地域おこし協力隊 中島さん

移住相談に行った際、最初に紹介された遊佐町の協力隊に応募。今は隊員業務の一環として放置竹林の整備をしています。退任後は、竹林整備のほか、町に1軒もない自転車屋を開業する予定です。

町の人は、自分から積極的に関わろうとすると親切に対応してくれます。知り合いが増えるにつれ、頂き物が多くなり、年々食費がかからなくなっています。



●沖縄県出身 庄内町在住 沖縄そばの店「いけい」店主 伊計さん

30歳のタイミングで次のステージに進みたく、たまたま条件の合った庄内町の協力隊に応募しました。退任後の今は、平日は会社に勤務しつつ、週末は沖縄そばの店「いけい」をやっています。副業は、地域に関わることができ、やりがいがあります。

また、雪かきは、自分ではまだなくてもいいかなあと思いつつ、近所のお父ちゃん方から「だらしないぞ」と言われないよう、周りを見て楽しくやっています。



●愛知県出身 鶴岡市在住 イタリアンレストラン「アル・ケッチアーノ」社員 山崎さん

奥田シェフと庄内の食材にひかれ就職を決意しました。サービス、言葉でお客様に庄内の食材や風土を伝えたいと思っています。

庄内は食材の価格が安いと思います。今の一押し食材は鱈ですね。白子のパスタを食べにアル・ケッチアーノにおいでください。

今回は、2月5日に「SHONAIワークスタイルミーティング」と題し、3名の移住者をゲストに迎え「仕事」をテーマに第2弾の交流会をZoomで開催予定です。たぐいま参加者募集中！



オンライン
移住ミーティング
お申込みフォーム

総務課 連携支援室 ☎ 0235-66-5446

「庄内地域議員協議会」が 開催されました

庄内地域から選出された県議会議員が地域の課題や政策について審議を行う「庄内地域議員協議会」が、11月18日に総合支庁講堂で開催されました。



始めに総合支庁長が事業の進捗について説明し、その後の質疑では「飲食店ででの新型コロナウイルス感染が確認された際

の対応を周知すべきではないか」「酒田港東ふ頭交流施設『SAKATANTO』の利用状況はどうか」「豚熱の感染予防策はどんな対策が考えられるか」「県税の調定状況は」など、各議員から多岐にわたる質問や意見が出され、たいへん活発な協議会となりました。

いただいた意見等は、関係機関と共有し、県の施策に反映されるように取り組んで参ります。



総務課 企画調整担当 ☎ 0235-66-5418

庄内地域において国による 災害査定が実施されました

～被災施設の復旧に向けて～

9月27日、10月19日及び11月8日に、庄内地域において国による災害査定が実施されました。

庄内地域では、令和4年6月から8月にかけての大雨により以下の被災があり、査定では全て災害の認定を受けることができました。

- ・山形県で河川災害3件、道路災害1件
- ・鶴岡市で道路災害2件
- ・庄内町で河川災害3件

今後は、県民の皆様の安全を第一に、被災を受けた施設の早期復旧に向けて尽力して参ります。



“災害査定”ってなに？

災害査定とは、国が大雨等で被災のあった道路や護岸等の状況を現地で確認します。その際に、道路や護岸等を直すのに必要なお金や直し方が正しいものかどうかを現地で査定（確認）するものです。



河川砂防課 河川維持調査担当 ☎ 0235-66-5161

里山DAY in たざわを開催しました

「田沢川ダムまつり」リニューアル第2回！ 田沢の自然、歴史、食、温泉を1日満喫！

10月16日に「田沢川ダムまつり」をリニューアルした「里山DAY in たざわ」の第2回が開催されました。

このイベントは、田沢川ダムのPRや平田地区との交流、担い手づくりを目的としており、地域資源を活かした「田沢地区」の魅力を体験できるイベントとなっています。

当日は、田沢川ダム・旧阿部家・小林温泉ぼぼら・やまもと農村交流センターの4会場に分かれてイベントが行われ、ダムの堤体見学をはじめ、ダムカレーの販売、スタンプラリー等で大変賑わいを見せました。参加した方々からは、「里山のよさを満喫致しました。」「ダム見学楽しかった。」等の感想をいただきました。

昨年度からリニューアルされ、さらにレベルアップしたイベントとなっておりますので、ぜひ来年もお越しください。



田沢川ダムの豆知識

田沢川ダムは、“洪水を防ぎ、酒田市民へ安定した水を供給する”目的で建設されました。

構造：重力式コンクリートダム

ダム高さ：81m

堤頂長さ：185m、体積：217,000m³



河川砂防課 ダム管理担当

☎ 0235-66-5634



考えよう！ 食品ロス問題

庄内総合支庁でフードドライブ実施



10月30日の食品ロス削減の日にあわせて、10月28日に庄内総合支庁で職員を対象にしたフードドライブを行いました。

フードドライブとは、家庭で使いきれない食品を持ち寄り、フードバンク団体を通して食の支援を必要とする方に提供する活動で、食品ロス削減にもつながります。

出勤時や昼休みに受け入れを行ったところ、乾麺や缶詰、ジュース等154点(約70kg)の食品が集まりました。

集まった食品は、NPO法人ぼらんたす様に提供しました。

日本の食品ロス量は年間約522万トン。一人当たり1日にお茶碗約1杯分のご飯の量、国全体ではお茶碗1億杯分以上の食べ物を毎日捨てていることとなります。その結果、限りある資源の減少や環境負荷の増大・地球温暖化など私たち自身の生活に影響を及ぼしています。

みなさんも食品ロスのこと、考えてみませんか？

環境課 廃棄物・海岸漂着物 担当 ☎ 0235-66-4914

庄内の4湧水が「里の名水・やまがた百選」に選定！



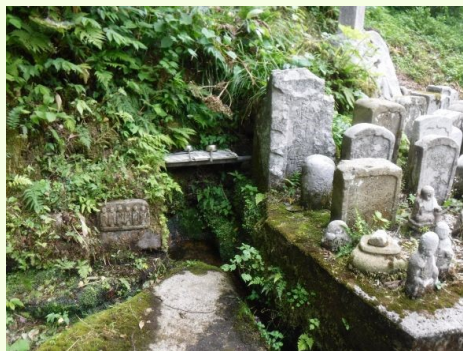
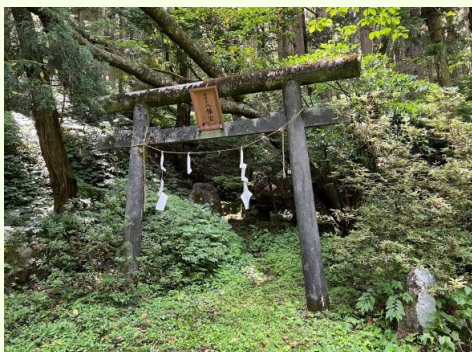
「里の名水・やまがた百選」に、 令和4年度は庄内から4湧水が選ばれました



いずれも、地域の生活や信仰の歴史に想いを馳せることができる名水です。みなさま、ぜひ訪れてみて下さい。

①岩清水(いわしみず) (鶴岡市湯田川)

湯田川の岩清水八幡宮の境内にあり、まさに岩の割れ目から湧き出しています。歴史も古く、地域の方々に愛されている湧水です。



②加茂 お不動様の 清水(かも おふどうさまのしみず) (鶴岡市加茂)

加茂の藤滝不動尊にあり、地域の方々が代々守り続けてきた湧水です。

④瑠璃の水(るりのみず) (酒田市総光寺沢)

歴史も古い総光寺の薬師堂に向かう石段の側にあり、幽玄な雰囲気のある湧水です。

③地藏清水(じぞうしみず) (鶴岡市砂川)

砂川地区の方々が、湧水そばの地藏堂とともに保全活動を行ってきた湧水です。



環境課 環境保全担当 ☎ 0235-66-4744

庄内のとらふぐが旬を迎えています！

今年も開催！「食の都庄内 天然とらふぐキャンペーン」 3,000円分のお食事券を10名様にプレゼント！

参加店でふぐ料理を食べてアンケートに答えると、抽選で10名様に、キャンペーン参加店で使える3,000円分のお食事券が当たります。

庄内ではヒガンフグやマフグ、ショウサイフグなども獲れますので、お店に頼んでおけば、水揚げ次第で“食べ比べ”ができるかも！？薄造りはトラフグとショウサイフグで～、マフグはから揚げにして～、などなど。

本場の料理人も驚く庄内のトラフグ料理！予約必須ですよ。ぜひ一度ご賞味あれ！

＜キャンペーン期間＞

12月1日～3月12日

＜参加店舗＞

庄内の旅館・飲食店18店舗

詳細はこちら



水産振興課 振興普及・漁業調整担当 ☎ 0234-24-6045

12月は納税推進強調月間！

12月は県下統一の「納税推進強調月間」です。庄内総合支庁と管内市町では自主納税・納期内納付の推進のため県税・市(町)税の口座振替を推奨しています。口座振替は一度手続きを行えば、毎回自動的に振替されるので、金融機関に出向く必要も、納付を忘れることもありません。

県税・市(町)税が納期限まで納付されない場合、財産を差し押さえることがあります。納付が難しい事情があれば、納税相談を受け付けますのでお早めに連絡をお願いします。詳しくは、税務課または管内市町担当課までお問合せください。

税務課 ☎ 0235-66-5436

死亡野鳥を見つけたら



野外で、複数の野鳥が同一場所で死亡しているなど、不自然な死に方の野鳥を発見した場合は、環境課にご連絡ください。必要に応じて鳥インフルエンザの調査を実施します。(個体の状態等により検査できない場合もあります。)

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、野鳥など野生動物の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをいただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。

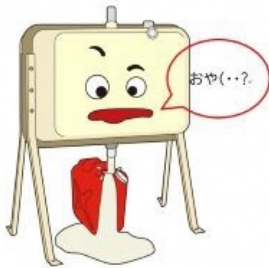
山形県ホームページをご覧ください



環境課 環境企画・自然環境担当 ☎ 0235-66-5706

ホームタンクの管理にご注意を！

寒いこの時期、ホームタンクからの油漏れ事故が多発しています。油流出事故を起こすと、漏れた油の処理費用は原因者の負担となります。



灯油の小分け中はその場を離れないようお願いいたします。

もし油漏れを見つけたら、消防、警察、役場や総合支庁に御連絡ください。

環境課 環境保全担当 ☎ 0235-66-4744

吹雪で動けなくなったときは

これから降雪期を迎えるにあたり、除雪作業を適切に実施し、交通の確保に努めてまいります。万一、地吹雪などにより車が動けなくなったとき、皆さんには次の対応をお願いします。

車を置いて避難するときは、除雪や救助活動の妨げとならないよう

- 連絡先を書いたメモなどを車内の見えやすいところに置きましょう。
- 車の鍵はつけたままにしておきましょう。



道路計画課 維持管理担当 ☎ 0235-66-5617

雪下ろし・除雪作業中の事故に注意！

例年、雪下ろしや除雪作業中の事故が発生し、多くの方が被害にあわれています。庄内地域での昨年度の雪害事故件数は13件、そのうち雪下ろし中の転落が最も多くなっております。

何よりも命を守ることが大切です。「自分は慣れているから大丈夫」などの過信は禁物です。雪下ろしが必要な場合は、業者への依頼を検討しましょう。



総務課 防災安全室 ☎ 0235-66-5447

道路除雪 求人募集

～あなたの力が必要です～

冬期間の道路を安全で円滑に通行するため除雪を行っています。

建設業協会の各企業では、除雪業務に従事する方を募集しています。特別な免許を持ってなくても活躍できます。あなたの力が必要です。まずはお問い合わせください。

問い合わせ先(午前9時～午後5時 土日祝日を除く)

山形県建設業協会 鶴岡支部0235-22-2364
酒田支部0234-33-0702

道路計画課 維持管理担当 ☎ 0235-66-3016

